

○ 第1部 市政報告について

【市からの状況説明】

1. 新型感染症対策
2. 全国屈指の森林観光都市に向けた取組み
3. プレミアム電子商品券
4. 大山～鶴巻温泉間のバス運行の活用
5. 「つるまき千の湯」の活用
6. 通学路整備・市道改良・公園遊具改修など
 - ・NITTANパークおおねスケーティング場改修工事
 - ・県道613号鶴巻南工区歩道整備事業
 - ・代々木水路(大根第10-1雨水幹線)更新工事
 - ・カルチャーパーク陸上競技場改修工事

市長

※詳細は別途資料参照

○ 第2部 地域まちづくりについて

1 4駅周辺のにぎわいについて

【市からの状況説明】

- ・ 本市では、リーディングプロジェクト「小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト」として、小田急線4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした、楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなど、活力あふれるにぎわいの創造に取り組んでいる。
- ・ 今まで、にぎわいづくりの中心的存在として商店街を中心ににぎわいやまちの活性化について、意見交換や様々な検討を続けてきた。
- ・ 郊外型大型店の進出やインターネットショッピングの進展等により、消費者の買い物への動向が変化する中、地域商業者が減少し、既存の商店街だけでは、にぎわいづくりの担い手となるのが難しい状況にある。
- ・ 商業者だけでなく、その街に関わる人、例えば、その地域に住んでいる方、働いている方、市民活動を行っている方、加えて若い学生の方々などに、駅周辺のにぎわい創造に向けた議論に参加してもらおう場として、駅毎に「4駅にぎわい創造検討懇話会」を立ち上げるため準備を進めている。
- ・ 懇話会の立ち上げにあたっては、この先20年後30年後を見据えた議論をしていただけるよう、できるだけ若い世代の方々の参加を促している。
- ・ 鶴巻温泉駅周辺の懇話会は、11月9日に第1回目を開催し、地域課題の再抽出や魅力の発見、課題解決に向けた取り組みの方向性について、膝を交えて話し合い、話し合われた結果は、市として、しっかりと受け止め、施策に反映し、民間事業者との役割分担の中、できることはしっかりと取り組むことを確認した。
- ・ この会は非常にいい雰囲気が進み、年長者が知識や経験を活かし、しっかり土台を作り、若い方が将来を見据えて懇話会を先導してほしいとの意見がある。参考までに、他の駅の状況は、渋沢駅、東海大学前駅の懇話会は、人選の最終段階に入り、開催の日程調整を行っている。
- ・ 秦野駅北口周辺では、拡幅整備が進む県道705号の開通が、県より、令和8年度と示され、最優先に取り組む地区として、「にぎわい創造検討懇話会」に加え、学識経験者や商工会議所、JAはだの、地域住民、商業者、小田急電鉄、神奈川中央交通等の関係団体の代表者等により、「にぎわいのあるまちづくり協議会」を組織し、まちの将来像についての実現性を念頭に検討を進める。
- ・ 既に8月27日には、キックオフシンポジウムや「にぎわい創造検討懇話会」では2度のワークショップ等を開催しながら、未来のまちに求めるイメージを共有し、その実現に向けた、未来ビジョンの策定を進めている。
- ・ 小田急線4駅にそれぞれに地域の特色があるということは、にぎわいのあり方も4駅ごとに特色がある。鶴巻温泉駅周辺のにぎわいとはどのようなものなのか、住みやすさ、歩きやすさなどを総合的に考え、まちのビジョンづくりを進める。
- ・ まちづくりは、行政だけでなく、商業者や民間企業、住む人、働く人、学ぶ人が自分ごととして捉え、しっかりと役割分担の元で進めていく必要がある。今後、懇話会の意見をしっかりと実現できるよう、地域の皆さんと共に進め、魅力あるまちづくりを進める。

はだの魅力
づくり担当
部長

2 旧ポンプ場(鶴巻排水機場)と大根川ポンプ場を活かした憩いの場づくりについて

【市からの状況説明】

- ・ 旧ポンプ場(鶴巻排水機場)について、昨年度に地元からの様々な御意見をいただき、本年3月に令和4年度から7年度までの4年で整備・活用するという方針を取りまとめることができました。
- ・ この「秦野市鶴巻排水機場利活用方針」に従い、今年度は大根川への吐(はき)口(ぐち)施設(樋管(ひかん)、吐(はき)出(だし)樋門(ひもん))の撤去工事を行う。
- ・ 令和5年度は遊水池を埋立て、令和6年度は建屋改修工事、令和7年度は広場整備工事を行う予定である。
- ・ 御要望の桜の植樹については、「はだの桜プロジェクト」を御活用いただきたい。このプロジェクトは本市が事務局である桜の植樹推進実行委員会により、一括で苗を購入し、桜の苗木を有償配布し、市民自らの手で植樹・育樹していただくものであり、昨年度は、12月に申込み、2月に植樹をした。
- ・ 治水の歴史、水との戦いであった鶴巻地区の象徴であるポンプ場を歴史館として、また、あじさい遊歩道の憩いの場としての整備の御意見を受け、令和7年度の広場整備工事に合わせて、施設の説明板を設置し、旧ポンプ場の施設概要や先人が苦労した治水の歴史等の掲載を考えているが、地元と調整しながら作成し、御協力をお願いしたい。

環境産業部長



旧ポンプ場(鶴巻排水機場)



【質問・要望・意見等】

(要望)

- ・ 令和7年度まで整備するとの説明だが、観光振興課が植えたソメイヨシノ3本と三春桜の計4本の桜を今年掘り起こし、現在、造園屋さんの畑に仮置きしている。当初、1年くらいで戻せると思っていたが、吐水口の工事完了後となる令和5年度春に敷地内に一旦戻せないか。

副会長・鶴巻第2自治会

(市回答)

- ・ 重機も入るため、工事状況により戻すことが難しいと考えられるので御理解をいただきたいが、工事全体の中で戻せるのか、確認し、後日回答する。

環境産業部長

(要望)

- ・ 移植には、造園屋さんや畑の地主さんへ来年3月までの仮置きをお願いしているため、調整が必要になるので、御相談させていただきたい。

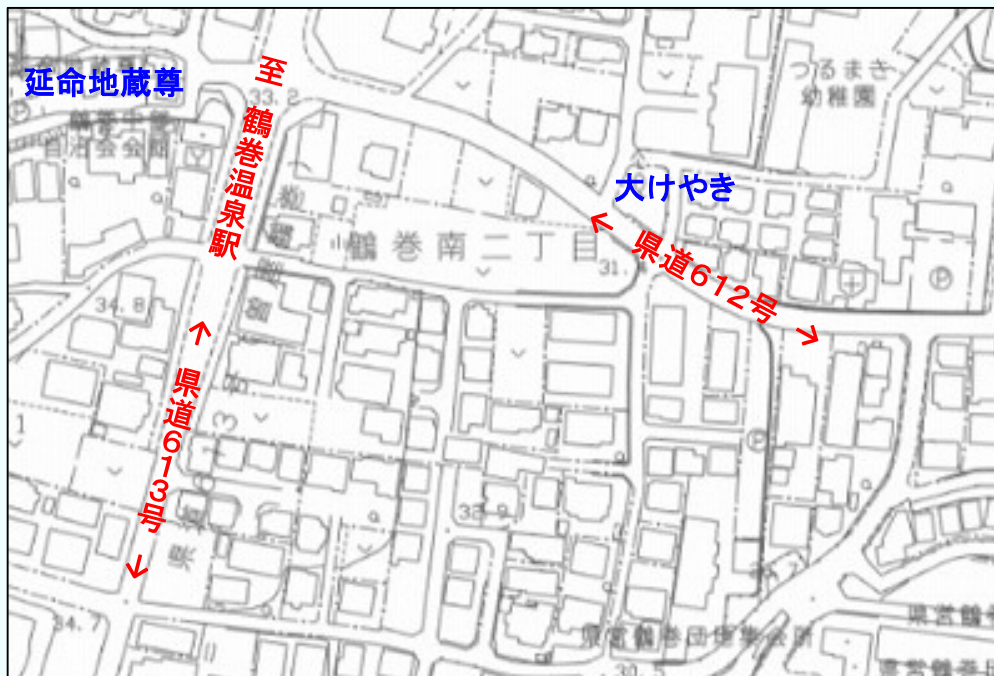
副会長・鶴巻第2自治会

○ 第2部 市政全般について

(要望) 県道612号線、613号線の歩道設置

- ・ 県道612号線、613号線のうち鶴巻エリアはまだ専用歩道がない。長年要望しているが、進捗状況はどのようなか。

まちづくり協
議会



歩道設置要望箇所



(回答)

- ・ 令和2年度に鶴巻地区自治会連合会から県道613号を優先していただきたいとの神奈川県宛ての要望をいただき、市を通じて提出し、令和2年度に事業化した。
- ・ 現在、用地測量をし、来年度から建物補償や地権者との個別交渉を行い、令和9、10年度に工事する。県が工事を進めるのは西側の歩道であるが、東側の歩道を整備し都市計画道路となるよう、県と調整を図る。
- ・ 県道612号の工事は、県道613号を優先していることから、直ちに進めるのは難しいが、歩行者空間確保のための交渉を継続しつつ、今できる対策として、見通しの悪いカーブの手前等へ安全を促す注意喚起の看板を設置する等の調整を進める。

建設部長

(要望) 鶴巻温泉駅南北ロータリー周辺の活用

- ・ 北口オブジェ周辺及び南口時計塔の下の空き地の雑草の草刈り回数を増やしてほしい。(昨年度も要望)
- ・ 雑草が生えないよう植栽に替えられないか。



南口ロータリー



北口ロータリーの
オブジェ

まちづくり協
議会

(回答)

- ・ 昨年度の要望を受けて、草刈りの回数を3回から4回へ増やしたが、今年度は、試行的に成長抑止剤の使用を考える。

建設部長

(要望) 不法投棄対策と長期放置車両の撤去

- ・ 大椿台地区付近には、不法投棄物が放置され長期放置車両が留置している等、周辺住民は大変迷惑しているのので、早期に対策をしていただきたい。

まちづくり協
議会

(回答)


- ・ 不法投棄は、原則不法投棄された方が撤去するものであることから、張り紙を貼ったり、指導している。
- ・ 東名側道の放置車両について、平成28年度から令和2年度まで、ポンプ場に3台、側道に2台の車両が、同一所有者により長い期間放置されていた。令和3年の3月に行政代執行により、放置車両を撤去したが、再び、車両が放置されたことから、本年12月を目処に再度、行政代執行による撤去ができるよう準備を進めている。
- ・ また、警察とも連携しながら進めていきたい。



不法投棄されたもの

建設部長

<p>(要望) 鶴巻地区のにぎわいづくりと受け入れ対策1</p> <ul style="list-style-type: none"> 弘法の里湯来館者増大に伴う、施設の拡充等の受け入れ体制づくりをお願いしたい。 (土日は入場制限が発生、諦めて帰る客もいる) 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 弘法の里湯の利用客の推移は、コロナ禍ということもあり、平成29年度の162,320人、平成30年度 157,261人、令和元年度 133,492人、令和2年度 78,983人と減少し、令和3年度 110,461人とやや増加している。現在は、新型コロナウイルス対策の一環として、下駄箱にある200個のロッカーが埋まった時点で来館者の皆様に施設外での順番待ちをお願いしている。特に春のゴールデンウィーク及び秋の大山から鶴巻温泉駅までのバス運行期間は、特定の時間帯に来館者が集中するため、一時的に待ち時間が発生し、御不便をお掛けすることもある。 来訪者を増やす取組は、現在、地元商業者による「ジビエの食べられる街」等、鶴巻温泉のPRに取り組んでいただいております、まずは、地域の商業者と地元温泉組合とも一体となり、地域全体で来訪者を受け入れる仕組み作りを考える。 	<p>はだの魅力づくり担当部長</p>
<p>(要望) 鶴巻地区のにぎわいづくりと受け入れ対策2</p> <ul style="list-style-type: none"> 定休日も足湯を開放してほしい。 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 足湯は、ボイラーでの加熱が必要であり、安全管理上、定休日の開放は考えていない。 	<p>はだの魅力づくり担当部長</p>
<p>(要望) 鶴巻地区のにぎわいづくりと受け入れ対策3</p> <ul style="list-style-type: none"> 手湯について、吹出量を上げるなど、認知度を上げる方策をお願いしたい。 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏頃に手湯の排出圧を強くした。設計上、排出圧が強すぎると、周囲が水浸しになってしまうことから、他の自治体の例を研究しながら、施設の見せ方等を検討する。 	<p>はだの魅力づくり担当部長</p>
<p>(要望) 鶴巻地区のにぎわいづくりと受け入れ対策4</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前広場のオブジェについて、もっと目につくような方式をお願いしたい。 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 北口オブジェには、「飛翔」という名称がついており、夜間6時半から9時半まで、赤青の二色を変化させながらライトアップしている。野外彫刻をさらに目立たせるために、彫刻やその周辺を工作することは、著作権を有する作者の同意が必要であり、作者が考えや思いをもって、この場所へ制作された作品であるため考えていない。 野外彫刻の作品の存在や制作意図の理解のため、市内の野外彫刻の銘板に二次元コードを設置し、スマートフォン等により作品の解説を見ることができる。オブジェの銘板が、道を渡ったところにあるため、分かりやすいように案内板等の設置を検討する。 	<p>はだの魅力づくり担当部長(文化スポーツ部)</p>

<p>(要望) 鶴巻地区のにぎわいつくりと受け入れ対策5</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮永岳彦記念館の利用が少ない。弘法の里湯施設の拡充に変更してはどうか。 宮永岳彦記念美術館年間来館者数は、常設展示室では新型感染症禍以前で毎年3,000人前後、新型感染症禍の令和2～3年度では約1,400人前後である。 併設する市民ギャラリー入場者数は、新型感染症禍以前で約12,000人前後、新型感染症禍の令和2～3年度では約1,000人～3,000人である。市民ギャラリー使用件数については新型感染症禍以前で約30～40件、新型感染症禍の令和2～3年度では約10～15件である。 宮永岳彦記念美術館は、市民の文化芸術活動の鑑賞及び発表の場として定着していることから、弘法の里湯の一部として活用することは現段階では考えていない。 弘法の里湯と宮永岳彦美術館の施設を拡充するというハード面での対応でなく、地元商業者と温泉組合の方々と一体となって、来訪者を鶴巻地区全体で受け入れる仕組みづくりについて、にぎわい創造検討懇話会でも検討する。 	<p>まちづくり協議会</p> <p>はたの魅力づくり担当部長(文化スポーツ部)</p>
<p>(要望) 東名高速道路の側道(市道26号線)「上ノ窪橋西側～鶴巻温泉駅入口」付近の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 上部自治会館前道路～東名高架下歩道に横断歩道を設置してほしい。 	<p>まちづくり協議会</p>  <p>横断歩道設置 要望箇所</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市と警察署が協議をした結果、東側の横断歩道との距離が近いため、新たな設置は困難である。 	<p>建設部長(くらし安心部)</p>

(要望) 東名高速道路の側道(市道26号線)「上ノ窪橋西側～鶴巻温泉駅入口」付近の対策

- ・ 弘法山ハイキングコースを横断する側道に横断歩道を設置してほしい。

横断歩道設置
要望箇所



まちづくり協
議会

警察署

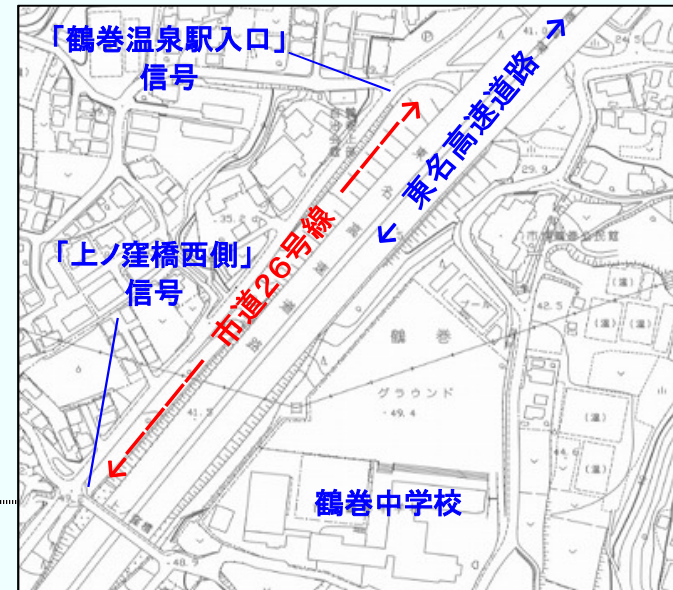
(回答)

今回新たな要望として、今後、警察署と協議する。また、具体的な方法・場所等は、地元の自治会との意見交換をしながら対応する。

(要望) 東名高速道路の側道(市道26号線)「上ノ窪橋西側～鶴巻温泉駅入口」付近の対策

- ・ 急傾斜のため車両の運転速度の抑制対策を講じてほしい。

速度抑制
要望箇所



まちづくり協
議会

建設部長
(くらし安心
部)

(回答)

車両の運転手に速度抑制の注意喚起を促す路面標示の設置を検討する。

<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 延命地蔵尊から踏切までの間の坂道は車の通りも多く、歩行者は暗くなると危険を感じるため、街灯を増やしてほしい。 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県(平塚土木事務所)と街路灯の設置について調整中である。街路灯には設置基準があり、交差点の箇所への設置は義務づけされている。 当初、延命地蔵の交差点の前に2箇所、鶴巻温泉駅南口のロータリーの入口に1箇所の合計3箇所の設置を計画していたが、地元の御意見を受け、再度要望し調整した結果、さらに、鶴巻温泉駅南口のロータリーの南側に街路灯を1灯追加設置することになった。 引き続き、県と調整しながら、地元の御意見を届ける場の設定等、街路灯の増設について働きかけをする。併せて、街路灯を補足する役割を持つ防犯灯の設置を考える。 	<p>建設部長</p>
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> プラスチックごみの回収について、最近、プラゴミが増大しているので、回収回数を増やしてほしい。 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 回収にあたる人員、予算等の現在の状況では、プラスチックごみを毎週回収するのは難しい。 収集日以外にいつでも市民の皆様が容器包装プラスチック等の資源物が出せるよう、市内14箇所に資源物ストックハウスを整備している。この鶴巻地区においては、鶴巻公民館の第三駐車場(東名高速道路の高架下)に設置しているため、公民館開館時であれば利用可能なため、御活用いただきたい。 現在の回収対象は包装容器プラスチックのみであるが、今後は、シャーペン、おもちゃ等の製品プラスチックも回収対象となり、分別収集の開始に向けて検討をする。この中で、隔週から毎週とする収集頻度の増加も併せて検討し、結果は、改めてお知らせする。 	<p>環境産業部長</p>
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅北口広場及びの歩道タイルが凹凸になっており、危険であるため、早期に補修してもらいたい。 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシー乗り場の後ろの部分について、令和3年度に改修したが、更に西側の奥に根上がりしている箇所があるため、今後改修する。その他にも、トイレのある広場にも根上がり箇所があり、横断歩道に向かう箇所には、沈下している箇所もあるため、改修に向けて準備を進めている。 また、鶴巻公民館へ向かう市道についても、現在、順次公民館側から改修をし、令和6年度までに、県道との接道箇所までを改修する。 	<p>建設部長</p>

<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災無線放送が聞きづらい。 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市は山に囲まれているという特性上、放送が反響してしまう状況にある。 ・ 現在、お近くの防災行政無線は、鶴巻上部自治会館になるので、スピーカーの向き等を確認する。しかし、山の上からの放送については、音は横方向に流れ、下方向に届きづらいため、音響状況等を調査し、必要に応じてスピーカーの変更・設置等を検討する。 	<p>政策部長 (くらし安心部)</p>
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NITTANパークおおね公園等公共施設のトイレを和式から洋式にしてほしい。(前年度要望) 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NITTANパークおおねは、温水プール棟内トイレ2箇所と屋外トイレ棟(じゃぶじゃぶ池の前、バスケットボールコート横)の2箇所の合計4箇所、それぞれ男女あり、約4割が和式トイレである。今後、和式トイレしかない箇所を優先して改修をする。 ・ 現在、公園の管理者は市から指定管理者へ委託しているため、指定管理者と協議しながら改修化を進める。 	<p>建設部長</p>
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区拠点支援1拠点を2拠点に変更をお願いしたい。 ・ 鶴巻南側の拠点ほっとワークつるまき(小田急線南側)へ、北側から高齢者が行くのは困難なことから、北側に独自の拠点を設置しているが、家賃等の負担が厳しい。 	<p>まちづくり協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴巻地区における地域活動が活発な状況は、十分認識しており、拠点支援に係わる関係団体社会福祉協議会や各団体等と調整する。 	<p>市民活動支援課長</p>
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設名の「表丹沢野外センター」や市の取組で「表丹沢」との言葉をよく聞くようになり、昔から丹沢の南側を「表丹沢」と言われてきた状況があるのは分かっているが、地名やネーミングに「表」と「裏」を使用するのはいかがなものなのか。 	<p>大椿台自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に、広報紙で「表丹沢」という言葉を使用することがいかがなものなのかとの御意見が寄せられたこともある。明るいイメージで、丹沢の南側を「表丹沢」と呼ぶものであり、裏があるということではない。PRに当たり、御意見を踏まえ注視しながら取り組む。 	<p>はだの魅力づくり担当部長</p>